

Photo ふなばし

とくしゅう
PART 1

歴史探訪
文化財めぐり



高根町神明社の神楽 かぐら

とくしゅう
PART 2

ふなばしの道 ③

県道夏見・小室線

とくしゅう
PART 3

がんばったぞ！

市船の熱い夏



県道夏見・小室線の最北端、小室交差点

- 市政トピックス
 - 街角ホットニュース
 - サークル通信
 - WE ARE IN FUNABASHI
- まちなかの文化財／ふなばしの民話
市民ひとことインタビュー

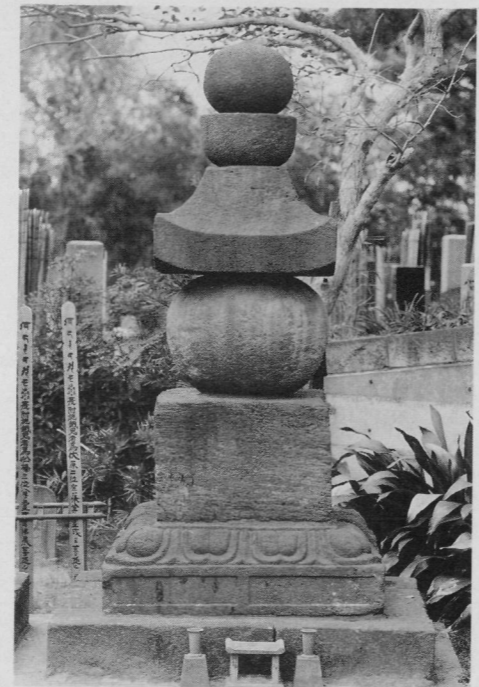
vol. **75**

広報ふなばし写真版

9月号(隔月第4月曜日発行)



豊作祈願、悪魔払いと疫病退散に効験があると伝えられている小室の獅子舞。雄獅子・雌獅子・中獅子の三匹獅子舞が特徴



鎌倉時代後期の作と推定される西福寺石造五輪塔。一番下の四角から順に地・水・火・風・空を表しています（宮本6）



西光院にある、江戸時代の俳人齋藤その女の墓（大穴北5）

葛羅の井のわきにたつ石碑には、江戸後期の文人、蜀山人大田南畝が選んだ句が刻まれています



葛飾明神の御手洗の井といわれる葛羅の井（西船6）



成瀬氏の墓は、市内唯一の大家の墓で、中央の正寿の墓は県内最大級の墓石です（宝成寺・西船6）

10月の神楽（指定文化財）の日程

- 15日 神明社（高根町）
- 16日 二宮神社（三山5）
- 20日 船橋大神宮（宮本5）
- 23日 大宮神社（飯山満町2）



市内4か所の神社の神楽が市の文化財に指定されています。（写真は船橋大神宮）



平成6年11月、身代観世音のご開帳に合わせて行われた稚児行列（藤原堂・藤原3）



藤原堂の木造観世音菩薩立像（通称：身代観世音）。33年に1度開帳されます



船橋大神宮の灯明台。年に一度、1月14日の「灯明台祭」の日に点灯されます（宮本5）



豊臣秀吉が行った「太閤検地」の天正検地帳。西図書館に保存されており、光ディスクで閲覧できます（西船4）



正延寺に安置されている木造五智如来坐像。平安時代の作と考えられる全国的にも珍しい仏像ですが、残念ながら非公開となっています（西船3）

現在の船橋市は、人口54万人を超える首都圏有数の大都市へと発展しました。また一方では、市内の遺跡から先土器時代の石器や縄文時代の住居跡・貝塚などが発見されているほか、近世以降は宿場町・漁師町として栄えた古い歴史も持つっており、様々な文化遺産が残されています。

本誌でも「まちなかの文化財」で身近な文化遺産を紹介していますが、市内には国、県、市が指定した39の文化財があります。非公開となっている仏像や名刀、あるいは50年に一度開帳される仏像、西図書館に保存されている古文書、地域や保存会の皆さんによって受け継がれている民俗芸能等々。

秋風さわやかな季節に、様々な文化財にふれて、ご家族で歴史探訪の秋を味わってみませんか。

※お願い：文化財は後世に伝えなければならぬ大切な財産です。現状の保存や、所有・管理されている方々に、十分配慮してください。

